

200/300シリーズマネージドスイッチの初期設定

目的

最も基本的な定義では、ネットワークスイッチのジョブは、接続されたデバイスからメッセージを受信し、別の接続されたデバイスに転送することです。200/300シリーズスイッチは、より特殊で複雑なタスクに対応できます。スイッチを設定する方法の1つは、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)を使用する方法です。この記事では、GUIにアクセスし、200/300シリーズマネージドスイッチのIPアドレスを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

- v1.2.7.76

グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)へのアクセス

ステップ 1 : スイッチを電源に接続してオンにします。スイッチは100 ~ 240Vの範囲の電圧を受け入れます。

ステップ 2 : イーサネットケーブルの一方の端をコンピュータに接続し、もう一方の端をスイッチの使用可能なポートに接続します。

ステップ 3 : スイッチのIPアドレスと同じサブネット内にIPアドレスを持つコンピュータを設定するには、次の2つの方法のいずれかを使用します。

- [Static] : スイッチと同じサブネットの固定IPアドレスをコンピュータに割り当てます。スイッチのデフォルトのIPアドレスは192.168.1.254です。つまり、使用されていない192.168.1.2 ~ 192.168.1.253のIPアドレスを選択する必要があります。
- [Dynamic] : スイッチとコンピュータの両方に接続されたDHCPサーバを使用します。DHCPサーバは、コンピュータとスイッチのIPアドレスを割り当てます。

注 : 工場出荷時のデフォルトIPアドレス192.168.1.254が使用中の場合、システムLEDが緑色に点滅し続けます。デフォルトのIPアドレスが使用されていない場合、システムLEDは緑色に点灯したままになります。

ステップ 4 : Webブラウザウィンドウを開きます。

ステップ 5 : アドレスバーにスイッチのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
[Managed Switch Login] ページが開きます。



手順 6 : [Username] フィールドにユーザ名を入力します。デフォルトのユーザ名はciscoです。

手順 7 : [Password] フィールドにパスワードを入力します。デフォルトのパスワードはciscoです。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

ステップ 8 : [Language] ドロップダウンリストから目的の言語を選択します。

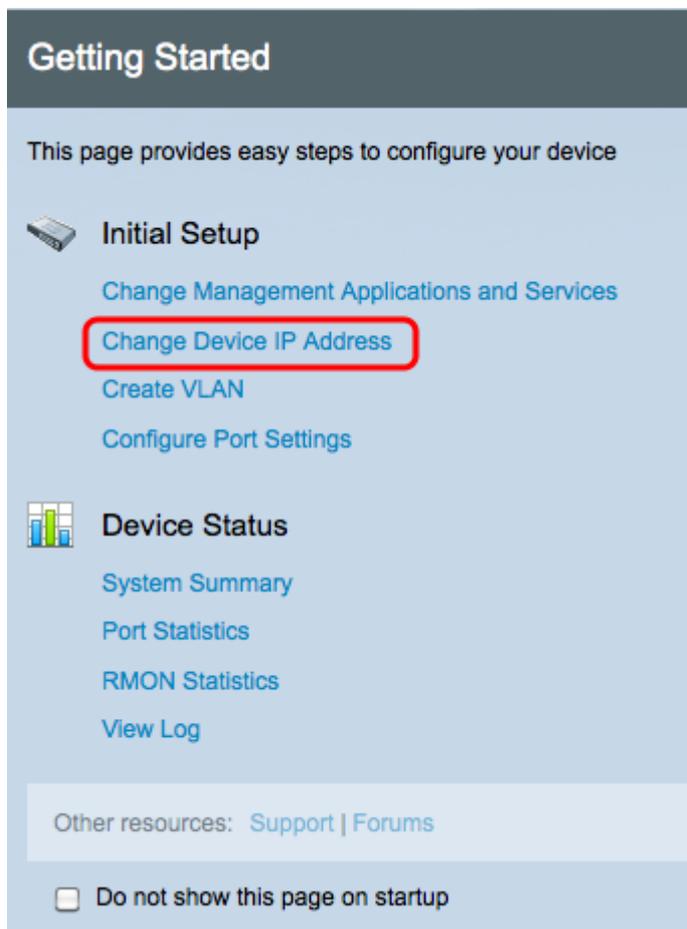
ステップ 9 : Log Inをクリックして、デバイスにログインします。

スイッチのIPアドレスの変更

方法1:TCP/IP設定を静的に割り当てる

ステップ 1 : スwitchのGUIにアクセスし、「グラフィカルユーザインターフェイス (GUI)へのアクセス」セクションの説明に従ってログインします。

ステップ 2 : [Getting Started] をクリックします。[Getting Started] ページが開きます。



ステップ 3 : [Change Device IP Address] をクリックして、スイッチのIPアドレスを変更します。 [IPv4 Interface] ページが開きます。

The screenshot shows the 'IPv4 Interface' configuration window. It includes the following fields and options:

- Management VLAN: 1
- IP Address Type: Dynamic, Static
- IP Address: 192.0.2.18
- Mask: Network Mask 255.255.255.0, Prefix Length (Range: 8 - 30)
- Administrative Default Gateway: User Defined 192.0.2.100, None
- Operational Default Gateway: (empty)
- Renew IP Address Now: Enable
- Auto Configuration via DHCP: Enabled

Buttons: Apply, Cancel

ステップ 4 : [Management VLAN] ドロップダウンリストからVLAN番号を選択します。スイッチのGUIにアクセスできるのは、管理VLAN上のデバイスだけです。スイッチのデフォルトの管理VLANはVLAN1です。VLANの詳細については、『200/300シリーズマネージドスイッチでのVLANの設定』を参照してください。

ステップ 3 : IPアドレスを手動で割り当てるには、[IP Address Type] フィールドの[Static] オプションボタンをクリックします。

ステップ 4 : [IP Address] フィールドにスイッチの目的のIPアドレスを入力します。

ステップ 5 : [Mask] フィールドで、サブネットマスクを決定するために使用する方法に対応するオプションボタンをクリックします。

手順 6 : [Administrative Default Gateway] フィールドで、管理デフォルトゲートウェイの決定に使用する方法に対応するオプションボタンをクリックします。

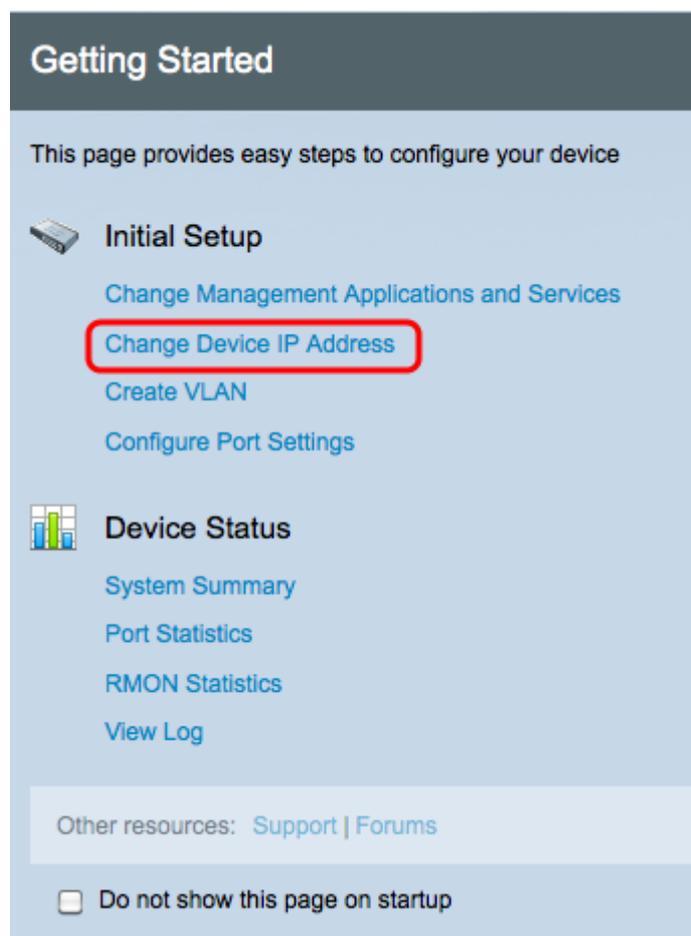
- [Network Mask]:IPアドレスマスクを入力します。
- [Prefix Length]:IPアドレスのプレフィクス長を入力します。
- [User Defined] : デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
- [None] : デフォルトゲートウェイは設定されません。デフォルトゲートウェイが選択されていない場合、スイッチはスイッチのIPサブネット外にあるデバイスと通信できません。

手順 7 : [Apply] をクリックして設定を保存します。

方法2:TCP/IP設定を動的に割り当てる

ステップ 1 : スwitchのGUIにアクセスし、「グラフィカルユーザインターフェイス (GUI)へのアクセス」セクションの説明に従ってログインします。

ステップ 2 : [Getting Started] をクリックします。[Getting Started] ページが開きます。



Getting Started

This page provides easy steps to configure your device

Initial Setup

- Change Management Applications and Services
- Change Device IP Address**
- Create VLAN
- Configure Port Settings

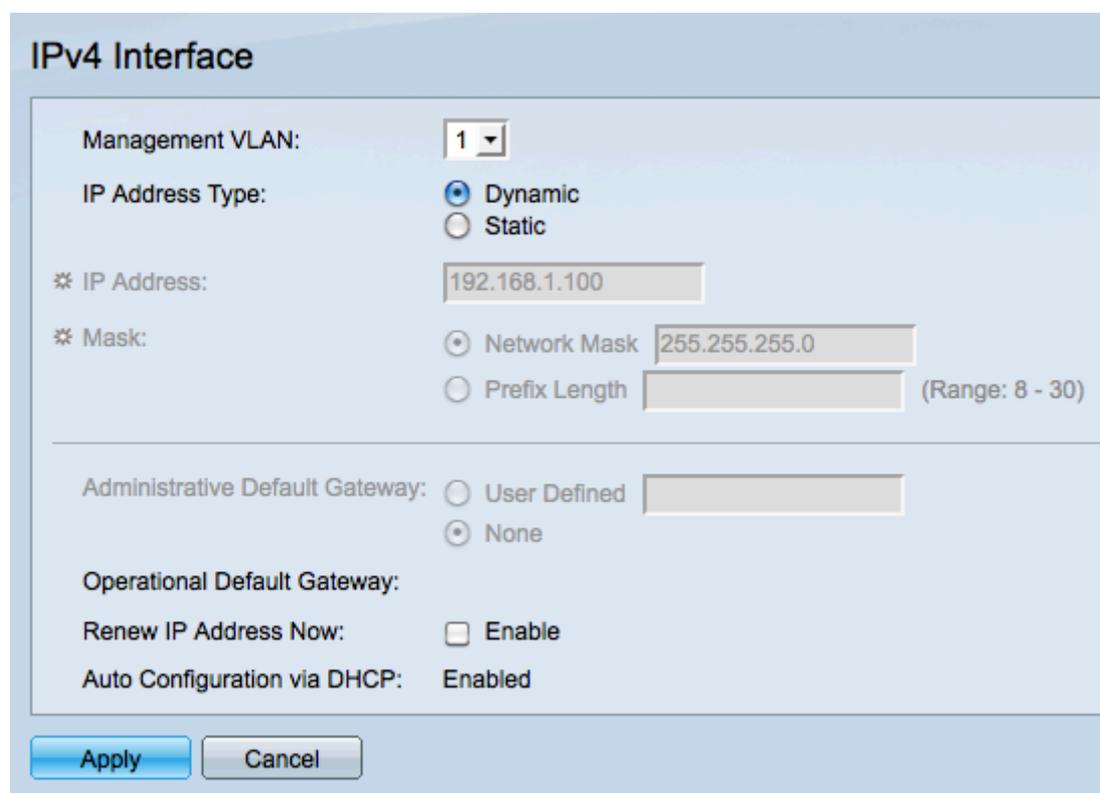
Device Status

- System Summary
- Port Statistics
- RMON Statistics
- View Log

Other resources: [Support](#) | [Forums](#)

Do not show this page on startup

ステップ 3 : [Change Device IP Address] をクリックして、スイッチのIPアドレスを変更します。 [IPv4 Interface] ページが開きます。



IPv4 Interface

Management VLAN:

IP Address Type: Dynamic Static

* IP Address:

* Mask: Network Mask (Range: 8 - 30) Prefix Length

Administrative Default Gateway: User Defined None

Operational Default Gateway:

Renew IP Address Now: Enable

Auto Configuration via DHCP: Enabled

ステップ 4 : [Management VLAN] ドロップダウンリストからVLAN番号を選択します。スイッチのGUIにアクセスできるのは、管理VLAN上のデバイスだけです。スイッチのデフォルト

トの管理VLANはVLAN1です。VLANの詳細については、『200/300シリーズマネージドスイッチでのVLANの設定』を参照してください。

ステップ 5 : [IP Address Type] フィールドの[Dynamic] オプションボタンをクリックして、IPアドレスを動的に割り当てます。

ステップ6: (オプション) スイッチのIPアドレスを更新するには、[Renew IP Address Now] フィールドの[Enable] チェックボックスをオンにします。

[DHCPによる自動設定(Auto Configuration via DHCP)]フィールドに、自動設定機能のステータスが表示されます。詳細については、『200/300シリーズマネージドスイッチでのDynamic Host Configuration Protocol(DHCP)サーバの自動設定』を参照してください。

手順 7 : [Apply] をクリックして設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。